

低学年からの基礎学力向上を目指して
 ~ 古城っ子応援団と連携した基礎学力向上システムを通して ~
 ~ 阿蘇市立古城小学校 ~

所在地	阿蘇市一の宮町中通 2 1 7 7 番地	実 態	<ul style="list-style-type: none"> ・素直で落ち着いた学習態度であるが、主体的に判断したり、表現したりすることが苦手な児童もいる。 ・手先の巧緻性が乏しい児童もいる。 ・学力テストの結果では、下級生は上級生と比べて低い傾向にある。 ・家庭の教育環境の格差も見られ、音読や九九を聞いてもらえない児童もいる
学級数	7 学級（通常 6、特別支援 1）		
児童数	8 0 人		
職員数	1 4 人		
TEL	0 9 6 7 - 2 2 - 0 1 9 9		
FAX	0 9 6 7 - 2 2 - 3 7 9 2		
校長名	池部 眞智子		

組織の概要	古城小学校学力向上推進委員会の立ち上げ メンバー：校長、教頭、研究主任、本事業担当者、PTA 会長、学校評議員、 コーディネーター：学校評議員の 3 名（公民館長、校区長、民生委員） 学習サポートの人材バンクは 1 4 名登録、読み聞かせサポートは 6 名登録、環境サポートは地域の老人会、安全サポートは区長さん方と P T A
-------	---

	いつ	どこで	だれが	なにを（学習支援活動）
取組の概要	隔週金曜日の放課後	1 ~ 3 年教室 ワークルーム	古城っ子応援団	音読やかかけ算九九を聞いてもらう 漢字や計算プリントの丸付け 手先の巧緻性を養う活動
	毎週月曜日の放課後	1 ~ 3 年教室	保護者・祖父母	漢字や計算プリントの丸付け
	夏期休業中の前後 6 日間	1 ~ 3 年教室	高校生	復習プリントや夏休みの宿題の丸付け
	第 3 金曜日の朝自習	各学年教室	保護者	本の読み聞かせ

学習支援活動の実際	学習サポート 対象 1 ~ 3 年生 「にこにこタイム」(隔週金曜日の放課後 3 時 ~ 4 時まで) <ul style="list-style-type: none"> ・音読やかかけ算九九を聞いてもらい、シールやスタンプで「認め、ほめ、はげまし、伸ばす」指導 ・宿題や漢字、計算のプリントの丸付けをしてもらい、間違えた問題は指導 ・1 年生は特に手先の巧緻性を養うために、折り紙やお手玉、豆運び、けん玉などの活動で指導。 「スキルアップタイム」(毎週月曜日の放課後 3 時 ~ 3 時 3 0 分まで) <ul style="list-style-type: none"> ・全校実施するが、特に 1・2 年生に入って習熟度別プリントの丸付けと指導 「サマースクール」(夏期休業中の 6 日間) <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の自己紹介でお互いに知り合う ・夏期休業日前半は、1 学期の復習プリントで丸付けと指導。 ・後半は、夏休みの宿題の丸付けと指導 ・高校生は、自前のキャラクターや英語のプレゼンで、子どもたちの関心意欲を高めてくれた。 「読み聞かせ」(毎月第 3 金曜日朝自習) <ul style="list-style-type: none"> ・指定図書を中心に読み聞かせをしてもらった。 	 
-----------	---	---

取組の成果	<p>漢字や計算の問題を応援団の方から丸付けしてもらうことで、児童はできた喜びや間違えても教えてもらえる安心感で、学習意欲を高めることができた。</p> <p>間違えた問題をその場で教えてもらい、解決へ向けて取り組むことができ、確実な習得へつながったと思われる。</p> <p>応援団の方から「よくできたね」「がんばったね」という励ましの言葉や、シールやスタンプをもらうことで、放課後ではあるが意欲的に取り組むことができた。</p> <p>阿蘇中央高校生の応援で実施したサマースクールは、大変熱い夏休みではあったが、児童は高校生からやさしく教えてもらったり、大きな花丸やキャラクターの絵を描いてもらったりして、大変意欲的に楽しく学習することができた。</p> <p>児童は読み聞かせを楽しみにしており、読書意欲が向上して、読んだ本の冊数も増えてきている。</p>
-------	---

今後の課題	<p>放課後学習サポートの効果が上がっているため、回数を増やすために毎週月曜日のスキルアップタイムにも来てもらうようにし、また応援団を増やすために保護者や祖父母の方々に呼びかけたが、応援団の方々も多忙で、人材確保は難しい面もある。</p> <p>「にこにこタイム」のプリントの準備や内容を整理し、応援団の方々取り組みやすいようにしていく。</p> <p>高校生のサポートは相互効果があり、大変いい成果があったので、次年度も続け、また、学校応援団が来れない時期（農繁期）などをお願いできればと思う。</p>
-------	--

児童の声	学習支援員の声		教師の声
	古城っ子応援団	高校生	
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな花丸をもらったり、100点と書いてもらったり、シールをもらったりしてうれしかった。 ・おじいちゃんが来て、童話発表会の練習を聞いてくれたので、とてもうれしかった。 ・おばあちゃんが、「前よりじょうずになったね」とか「もう少しゆっくり読むといいよ」など言ってくれたので、音読が上手になった。 ・高校生はやさしくてかっこよかったので、何でも聞けたし、楽しくて、計算がわかるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孫のようなお子さんたちと一緒に勉強するのは、とても楽しいです。特に「おばあちゃん、できたよ」と言っただ笑顔で話しかけられると、わたしも笑顔になります。勉強を教えるのはちょっと難しいこともありますが、これからも健康な限り、お手伝いしたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素直に話を聞いてくれて、とても楽しそうに勉強しているのだから、こちらでも楽しく教えることができた。 ・落ち着いて、一生懸命勉強に取り組んでいるので、感心した。 ・子どもたちにわかるように教えるのは思ったより難しかった。 ・将来つきたい仕事に役立った。来て良かった。ぜひ来年も参加したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の練習や計算など、放課後に残って学習することをいやがらず、応援団や高校生との勉強をととても楽しみにしており、学習意欲の向上につながった。 ・音読や童話発表会の練習、かけ算九九など、家で聞いてもらえない児童も多く、聞いてもらった上にほめてもらえるので、とても喜んで聞いてもらった。 ・折り紙やぬり絵、お手玉、豆運びでののはしの使い方や鉛筆の持ち方、字を書く姿勢など細かくみてもらい、効果が上がった。

次年度の計画	<p>プリント類は、児童の実態や系統性を考えて準備し、当日は余裕をもって指導にあたりたい。</p> <p>応援団の方々に支援がしやすいように、解答の準備やシール、スタンプなど豊富に用意したい。</p> <p>応援団の人員を増やすために、保護者や中学生にも呼びかけていきたい。</p> <p>サマースクールは来年度もより多くの参加を望み、高校生の意識を高められるような打ち合わせを年度初めに十分に行なって実施したい。</p>
--------	---